

現代民俗学会 2009年度第1回運営委員会 議事録

日時：2009年5月9日 13:30～21:00

場所：筑波大学人文社会学系棟 B113

出席：石本、及川、岡田、菅、塚原、徳丸、花木、林、古家、松岡、渡部

1. 研究会

（1）年次大会に関して

世界的規模で流行している2009年型流行性インフルエンザ問題をうけて、年次大会の実施およびドロシー・ノイズ氏の来日について話し合われた。決定事項は以下の通り。

・2009年型流行性インフルエンザに対する対応をふまえ、ドロシー・ノイズ氏の来日は当面延期する。

・ノイズ氏及びシンポジストである小長谷・平山両氏については、菅委員より事情を説明し、了解を得る方針。

・年次大会はプログラムを変更して実施することとなった。シンポジストとして、現在の2名に加え、及川高氏（筑波大学大学院生）を加える。

・当日のスケジュールは以下のように変更する。

9:30～	開場
10:00～11:30	総会
13:00～14:45	シンポジウム
13:00～13:15	シンポジウム趣旨説明（菅）
13:15～14:45	発表（小長谷・平山・及川） 発表者各30分
14:45～15:00	休憩
15:00～17:00	討論
17:30～	懇親会

なお、今後の2009年型流行性インフルエンザの状況次第では会の中止もありうることを確認した。

(2) 総会

総会の議事進行に関して確認した。

2. 会計

(1) 決算報告書及び2009年度予算案について

会計担当より2008年度決算報告書および2009年度予算案が示された。予算案については、一部の費目名・金額を修正の上で合意した。

(2) 雑誌販売価格について

予算案における収入の部のうち「雑誌売上金」については、雑誌の販売価格を2500円（年次大会をはじめとしたイベントでの直接販売は2000円）とした。

(3) その他

研究会の際に、資料代を度徴収することも今後検討していくべきではないかという意見が出された。また2009年度は積極的な経費削減に努める点について合意した。

3. 編集

(1) 創刊号編集の経過

編集担当より、『現代民俗学研究』創刊号の原稿を入稿したことが報告された。

第2号以降は、紙媒体による刊行の意味を定期的に評価すること、積極的な経費節減を行うこと、編集体制を再検討することを前提として、引き続き紙媒体と電子媒体を併用した出版を行うことで合意した。経費節減策としては、版組みについては編集担当側で行うこと、英文校閲は著者負担とすること、入会の勧誘とあわせて雑誌の販売を積極的に行うこと、投稿規定等は刷り上がりページを基準としたルールに一本化し、受理時点から最後の版組み状況を明確に予測することなどの方針を確認した。

なお創刊号の英文要旨とキーワードを早急にWeb公開する方針となった。

(2) 第2号の誌面構成について

第2号の誌面構成が提案された。創刊号と同様120ページ程度を前提に、論文3本・研究ノート2本・翻訳2本・批評8本・研究会記録、投稿規定・役員名簿の掲載を目安として、さらに編集担当で協議することとなった。

(3) 投稿規定及び執筆細則について

投稿規定及び執筆細則について提案された。協議の結果、投稿規定および執筆細則については、一部の条項を補足することとした。

4. 庶務

(1) 会則改正について

庶務担当より、総会における会則改正案の内容について提案された。

つぎに11条、12条、13条、15条、16条、17条、19条の各条項について検討され、加筆修正することとした。

（2）選挙規定について

事前の投票、候補者名簿の作成などは行なわず、総会の当日に投票を行う方針で合意した。再度、庶務により案を作成し、メール審議を行うこととした。

5. その他

（1）Webサイトの本会説明文について

設立総会における古家委員の基調講演の内容をもとに作成した文案が提示され、そのまま掲載することとした。

（2）新入会者について

2名の新入会者（一般会員）が承認された。

以上